

鹿児島大学病院

研修医 重久 彩乃 2016年7月

鹿児島大学病院初期研修医2年目の重久彩乃と申します。

2016年7月の1か月間、地域医療研修として、出水総合医療センターを中心に、高尾野診療所、野田診療所、保健センター、上場診療所等、地域医療に関わる様々な施設にて研修をさせていただきました。

研修1週目の高尾野診療所では、外来診療を経験させていただきました。実際に自分で外来診療を行うのは初めてで、短時間で効率よく、しかし重大な疾患を見落とさないように多くの患者さんを診ることの大変さを実感しました。また、今まで経験することのなかった外傷の患者さんの創傷処置を経験することができ、大変勉強になりました。

2週目の野田診療所では、外来の見学や心エコー、腹部エコー、頸部血管エコー、上・下部内視鏡検査など様々な手技を経験させていただきました。高齢者の患者さんでは多くの基礎疾患を持っており、多岐にわたる幅広い知識と技術が必要とされるのだと思いました。また、訪問診療にも同行させていただき、医療機関への受診が難しい方への診療を学びました。患者さんの生活や家庭環境なども考慮し診療にあたることの重要性を感じました。

夜間一次救急や上場診療所でも研修をさせていただき、限られた医療資源の中で診断や治療を行うことの難しさを感じました。

3、4週目の院内研修では脳神経外科で研修をさせていただきました。私の研修中にあった手術は数件のみでしたが、その他にも外来、病棟、救急外来対応など様々なことを学ぶことができました。今まで研修してきた病院は急性期病院であったため、出水総合医療センターでは回復期病棟でリハビリまで行っていることが印象的でした。また、看護部、医療安全管理室、地域医療連携室、臨床工学科、臨床検査科、リハビリテーション科等でも研修をさせていただきました。安全な医療を提供するためには多くのスタッフとの協力が必要であり、多職種による連携の大切さ、そのためのコミュニケーションの重要性を改めて感じることができました。

また、今回の研修中にトリアージ訓練や夏祭りにも参加することができ、とても内容の濃い1か月となりました。

各施設の先生方やスタッフの方々には大変親切にいただき、とても充実した研修となりました。今回の研修で学んだことを今後の診療に活かせるよう精進してまいります。お忙しい中丁寧にご指導していただき、本当にありがとうございました。